

令和6年度第1回 池田市環境審議会議事録概要

会議名	令和6年度第1回 池田市環境審議会		
会場	池田市役所6階 第5会議室	月 日	令和6年10月10日(木)
出席委員	◎熊谷樹一郎、○庄田佳保里、飯尾力一、谷田成司、笹部雄作、小路楓、淵上ゆかり、手向健二(池田市副市長) 欠席:田中透、新井芳江 (会長:◎ 副会長:○)		
事務局 業務担当 機関	市	池田市まちづくり環境部 藤井部長、脇尾次長(環境政策課長兼) 〃 環境政策課 杉本副主幹、荒木主任主事	
	業務担当機関	エヌエス環境株式会社	
傍聴者	なし		
内容及び 記録	■議事1. 令和6年度環境審議会会長及び副会長の選任について - 令和6年7月1日より新たに委員の委嘱をしており、各団体から推薦された委員を始め、計10名に委嘱。 - 委員の互選により、会長には前会長の熊谷委員を選任。 - 会長の指名により、副会長(会長代理)には庄田委員を選任。 ■議事2. 池田市環境基本計画(第3次)の進捗状況について <いけだかんきょうレポート2023(案)について> 事務局より説明後、質問および助言等を聴取。 - 池田市の取組を広く知ってもらうため、DX化の観点からも、デジタルデータにアクセスしやすいような手法を検討してもらいたい。(手向委員) - レポートのPDFデータをHTML形式に変換し、ホームページへ掲載するという手法もある。これにより、取組について調べたいと思ったとき、検索結果として表示されるようになる。(熊谷会長) - レポートや池田市の各種計画について、市民活動交流センターで配布することで、市民活動と市の活動との関連性を確認しやすいのではないかと。(谷田委員) - 五月山グリーンマルシェ&みんなのひろばの記事について、「環境」・「地域振興」だけでなく、「防災」への取組の一環として実施したとのことだが、当該イベントが「防災」へ繋がるのがイメージしにくいので説明が必要である。(小路委員) - イベントや施設の記事については場所を明記するほか、図を挿入して視覚的に情報を捉えられるようにすると、より活用しやすくなる。(淵上委員) - 環境指標の達成状況については人口の変動による影響も大きいため、池田市の人口推移をグラフで挿入すると良い。(笹部委員) - エコミュージアムのペットボトルキャップ回収の記事について、回収場所や詳細が分かるように、エコミュージアムのホームページの二次元バーコードを挿入すると良い。(飯尾委員) - 小学校の学習において、公園管理については興味関心の高い分野であるため、公園に関する記事載せることで学校現場でも活用されるツールになるのではないかと。(庄田副会長) - 現在、分野4「豊かな自然を守り、育てよう」については、みどりの保全の観点から各種取組を行っているが、環境基本計画の中間見直しのタイミングで、人の暮らしを守るため、どのようにみどりをうまく抑制しながら管理していくのか、という視点への転換が必要である。(笹部委員) - 関連性のある記事は順番を続けて掲載する等、レイアウトをまとめるように工夫すると読みやすい。(淵上委員)		

	■議題3. 令和6年度の実施事業について ＜池田市地球温暖化防止実行計画(区域施策編)の策定について＞ エヌエス環境株式会社から説明後、質問および助言等を聴取。 ・ 再生可能エネルギーのポテンシャルについて、計画書を作成する際は、各項目でGJに単位を統一してもいいのではないかと。また、排出量は千、ポテンシャルは万で省略しているが、省略の単位も統一するべきである。(淵上委員) ・ ポテンシャルについて、計画書を作成する際は、一世帯当たりの消費量は何Jで何世帯賄えるといった情報を載せたほうがわかりやすい。(淵上委員) ・ 現時点で、重点プロジェクトや施策体系はどのようなポイントを重視しているか。(庄田副会長) ・ 池田市の再生可能エネルギーポテンシャルはそれほど高くないため、再生可能エネルギーの導入と共に、省エネを進めていくことが重要となる。今後、公共施設の太陽光発電設備の導入可能性調査の実施などを検討している。(事務局) ・ 令和7年度からだ、既に進んでいる改修等がここにあてはまるのかは市民として気になる場所である。できればこれからできる建物は、既存の公共施設の改修も含めて、建築物はゼロエミッションを目指すよう、環境政策課から働きかけてほしい。(庄田副会長) ・ 現状脱炭素に関する補助として、太陽光発電設備の設置費補助金があるが、既存住宅の断熱改修についての補助はどのように考えているか。新しい建物はマンションが多く、太陽光パネルを置きにくい。また、池田市には古い建物も多いため、既存住宅の断熱改修など補助金の枠が可能性として広げられるのであれば検討してもらえれば良いと思った。(庄田副会長) ・ 財政の問題もあるが、公共施設の再編成の際はZEB化の視点は必要であり、どのレベルを目指すかについては個別案件で検討している。既存の建物でもLED化を進めており、蛍光灯の生産終了にともなって必然的にLED化は進む。断熱化については大規模改修のタイミングでないと難しいと考えている。(手向委員) ・ 今年度、市役所では給水スポットとしてウォーターサーバーを設置しているが、区域施策編の取組に該当するのか。また、他の施設への設置も考えているのか。(庄田副会長) ・ 給水スポットは、プラごみ削減(マイボトル運動)や熱中症対策の一環として位置付けており、気候変動適応策として区域施策編の取組に該当する。環境政策課としては、多数の人が集まる場所に設置したいと考えており、引き続き、施設担当者に協力を呼びかけていく予定。(事務局) ・ 夏場、公園で遊んでいた子どもがエコミュージアムへ水を貰いに来たことが何度かある。子どもが遊ぶ日中、土日祝日に給水スポットを活用できる場所へ設置するのが良いか。(庄田副会長)
準備資料	出席者名簿、次第 資料1 「いけだかんきょうレポート2023(案)」について 資料2 いけだかんきょうレポート2023(案) 資料3 池田市地球温暖化防止実行計画(区域施策編)策定事業の概要について